

vol. 2275

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館  
TEL/(097)556-2838 FAX/(097)556-8998 MAIL/ohtwu@view.ocn.ne.jp

# 大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に入れて徴収しています)



## 今号の掲載内容 (掲載順)

- 第1回 支部・単組・専門部教文部長会議
- 第1回 教文部委員会
- 復帰50周年 第45回沖縄平和行進

## 第1回 支部・単組・専門部教文部長会議 第1回 教文部委員会

とき 5月11日(水) ところ 教育会館201研修室

5月11日(水)に、第1回教文部長会・教文部委員会を開催しました。

教文部長会議では、最初に教文部委員会議題について議論しました。その後、支部教研や単組専門部学習会について、大野真二教文部長が提起しました。

続いて、教文部委員会を開催しました。始めに、教育をめぐる情勢(成年年齢18歳、教員免許更新制廃止と新たな研修、高卒求人一人一社制の動向、大分県の高校入試制度の課題等)について学習しました。また、教文部委員の任務、教研へのとりくみについて確認しました。

第70次教育研究大分集会は、全体会を10月23日(大分上野丘高校)、分科会を10月30日(教育会館)に開催します。レポート報告の1次集約締切(6月10日)は過ぎましたが、まだ受付中です。多くの方のレポート発表をお待ちしています。

### ～県教研の分科会構成～

1. 日本語教育
2. 外国語教育
3. 社会科教育
4. 数学教育
5. 理科教育
6. 芸術教育
7. 情報教育(教科「情報」)
8. 家庭科教育
9. 保健体育教育
10. 職業教育
11. 自治的諸活動と生徒指導
13. 人権教育
14. 障害児教育
15. 国際連帯の教育
16. 両性の自立と平等をめざす教育
17. 環境教育
18. 平和教育
19. 情報化社会と教育・文化活動
20. 選抜制度(高校入試・大学入試)と進路保障
21. カリキュラムづくりと評価・高校教育改革
22. 地域における教育改革とPTA
23. 教育条件整備の運動
24. 総合学習
25. 定時制・通信制・分校の教育

### ☆日教組九州地区協議会(九協)主催の教育研究活動

- ① 高校教育シンポジウム 8月1日～2日
- ② 教育運動交流集会・カリキュラム編成講座 8月16日～17日
- ③ 人権教育推進交流集会(両性研) 12月26日～27日
- ④ 2・11平和教育研究会 2月10日～11日

① ②は、大分開催です。支部長を通じて参加者を要請します。(各支部1名)  
積極的な参加をお願いします。

提案する  
大野教文部長

# 復帰50周年 第45回沖縄平和行進

5月13日～15日

過去2年間、コロナウイルス感染症拡大のため中止していた沖縄平和行進が、3年ぶりに開催されました。大分県平和運動センターは、議長である高教組大野委員長を団長に、17名の行進団で参加しました。45回目の開催となった今年の平和行進は、復帰50周年という節目の年になんとしても実施したいという沖縄県平和運動センターの熱意の下、感染症対策のため行程や参加者数を制限しての開催となり、5月14日（土）、約1,000人が平和を訴えました。例年は、北部・中部・南部の3コースに約5,000人が参加しますが、今年度は宜野湾市から沖縄市にかけての中部コースのみの開催でした。中部コースは、普天間基地・嘉手納基地のフェンス沿いを長く歩きます。フェンスの向こう側とこちら側の違いが一目瞭然であり、基地の存在を抜きには語れない沖縄の現状を感じながらの行進です。あいにくの雨と、3年ぶりの開催のためか例年より多かったという右翼の街宣車の妨害にも負けず、3時間かけて行進団全員で、沖縄の基地問題の解決、そして世界平和を訴えました。翌15日（日）は、那覇文化芸術劇場「なはと」で開催された「5・15平和とくらしを守る県民大会」に参加しました。集会では、日米の軍事一体化と強化、依然低い県民所得、沖縄経済の脆弱さなど県民を取り巻く現状の訴えに続き、「50年ののち『復帰して良かった』と心から喜びあえる日」を求め、基地のない沖縄、平和な日本、戦争のない世界実現に力を尽くすことを誓う宣言を採択しました。



## 【参加者還流報告】

5月13～15日の日程で平和行進に参加しました。以前から1度は参加したいと思っていました。新型コロナウイルスの関係で3年ぶり、参加人数を1,000人、行進も1日10kmだけと規模を縮小しての開催でした。今年が沖縄返還50年でNHKを中心に多くの特集番組が放送されていましたし、沖縄の企画・運営の方々の意気込みも高く、多くの事を知り、そして考える貴重な経験になりました。

沖縄県では、新型コロナウイルスの患者数が2,000人を超えている状況でしたので、1人でひっそりと食事に行ったのですが、お店の若い方から「観光ですか?」と言われ、「平和行進に参加しに来ました」というと、ほとんどの店員さんの反応は、「平和行進?」でした。最終日は大雨で、県民集会の会場までタクシーで移動したのですが、平和行進に参加した事を伝えると、年配の運転手から、「ありがとうございます」と感謝され、50年前の今日も雨だった事、ドルから円への切り替えなど話してくれました。沖縄でも年代によるギャップが存在する事を痛感するとともに、きちんと伝えていく事の大切さを再確認した3日間でした。

(大分工業定時制分会 佐藤 賢彰)

佐藤賢彰さん

## 第26回 参議院議員選挙・日政連予定候補者

- 1966年 福岡県久留米市生まれ、高校卒業まで久留米で育つ
- 1989年 熊本大学教育学部音楽科を卒業し、福岡県内の小中学校で教職に就く
- 2003年 福岡県教職員組合講師連絡会メンバー・結成準備世話人として、臨時採用教職員の組合結成にむけとりくむ。
- 2005年 福岡県教職員組合臨時採用教職員部が発足
- 2009年 福岡県教職員組合臨時採用教職員部部長
- 2012年 福岡県教職員組合朝倉支部執行委員
- 2018年 日本教職員組合専門委員
- 2020年 日本教職員組合特別中央執行委員

古賀 こが  
ちかげ

子ども 暮らし 平和



教育現場の声を国会へ届けるため、  
頑張ります。